

2025年7月24日

産業別四半期見通し調査結果 (2025年7～9月期見通し)

■長野県産業天気図

◇2025年4～6月期の現況

- 全12業種中、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が8業種、「小雨(低調)」が3業種となった。

◇2025年7～9月期の見通し

- 見通しは、「薄日(順調)」が1業種、「曇り(普通)」が8業種、「小雨(低調)」が3業種となった。方向感では、「横ばい」が11業種、「やや下降」が1業種となっている。

天気図記号	2025年 1～3月期現況	2025年 4～6月期現況	2025年 7～9月期見通し
 晴れ(好調)	0 業種	0 業種	0 業種
 薄日(順調)	1 業種	1 業種	1 業種
 曇り(普通)	8 業種	8 業種	8 業種
 小雨(低調)	3 業種	3 業種	3 業種
 雨(不調)	0 業種	0 業種	0 業種

■7～9月期見通しのポイント

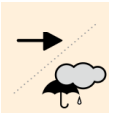
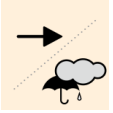
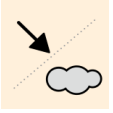
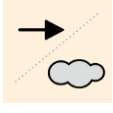
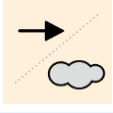
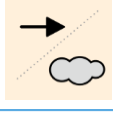
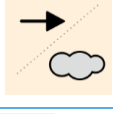
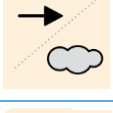
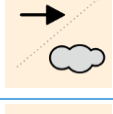
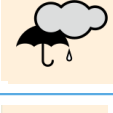
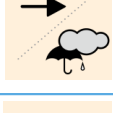
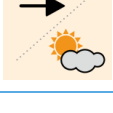
- 製造業、非製造業ともに天気マークに変化はない見通し

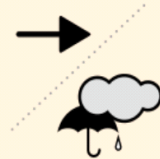
照 会 先
一般財団法人 長野経済研究所
調査部(担当: 桑井、須田)
TEL: 026-224-0501

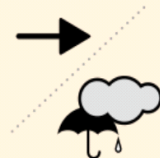


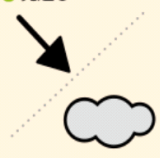
<産業別天気図一覧(12業種)>

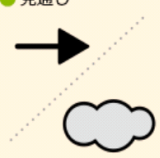
- 調査内容:業界の「現況」、「見通し」は、県内の企業経営者が業界の景気をどうみているかについてアンケート調査とヒアリング調査をした結果を基に、当研究所が判断した。
- 調査期間:2025年6月中旬～7月上旬
- 調査回答企業:県内主要企業12業種の112社

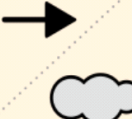
業種	前期 (25年1～3月期)	今期 (25年4～6月期)	来期 (25年7～9月期)
生産用機械			
電子部品・デバイス			
自動車部品			
飲料製造			
食料品製造			
機械器具卸			
大型小売			
自動車販売			
公共工事			
民間工事			
貨物			
観光			

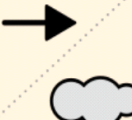
生産用機械	設備投資への慎重姿勢が続き、受注は低調
● 現況 	自動車向けの受注は、バッテリー式電気自動車(BEV)などの伸び悩みから設備投資への慎重姿勢が続き、低水準だった。IT関連の受注は、PC・スマートフォン向けや産業用向けなどの半導体需要の低迷が続き、低調だった。今後、米国の通商政策による影響が顕現化するとみられる中、投資への慎重姿勢が続き受注は低水準となる見通し。
● 見通し 	• 工作機械の受注は、国内では自動車関連を中心に投資の抑制が続くとみられ低調な見込み。海外は、米国向けは、輸入関税の引き上げにより受注が減少する見通し。一方、中国向けは、中国政府の設備更新補助が下支えし、持ち直すとみられる。 • 半導体製造装置の受注は、IT関連や産業用の半導体需要の低迷が続き低調な見通し。

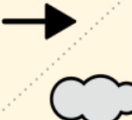
電子部品・デバイス	輸出向けを中心に受注は低調な見込み
● 現況 	電子部品の受注は総じて低調だった。PC・スマートフォンなどのIT関連向けは、中国景気の停滞を背景に、また一般機械などの産業用は、米国の通商政策の影響による設備投資への慎重姿勢を受け、受注は伸び悩んだ。さらに、車載用もバッテリー式電気自動車(BEV)需要の鈍化を受けて低調だった。今後も、産業用やIT関連を中心に受注は低調に推移するほか、米国の通商政策の影響が徐々に顕現化する見通しから、生産は足踏み状態が続く見込み。
● 見通し 	• IT関連やエアコン・冷蔵庫などの家電用は、中国や欧州など海外需要の弱さが続くほか、産業用も先行き不透明感から設備投資関連を中心に低調な見通し。 • 車載用は、中国景気の停滞や欧州でのBEV需要の鈍化から、弱い動きが続く見込み。

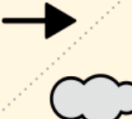
自動車部品	内需は底堅いものの外需が低調な見通し
● 現況 	国内・北米の新車需要が堅調で、自動車部品の受注は総じて底堅かった。今後は、国内向けは底堅さを維持する一方、海外向けは米国の通商政策の影響等から受注は弱含む見通し。
● 見通し 	• 国内向けは、堅調な買い替え需要が見込まれる中、一部完成車メーカーにおける認証不正問題の影響緩和などから底堅い見通し。 • 北米向けは、足元の受注動向は底堅いものの、米国の通商政策等から先行き不透明感が強まっており、今後、徐々に影響が顕現化する見込み。中国向けは、現地メーカーとの競争激化を背景に日系完成車メーカーの販売が低迷しており、受注は低調な見通し。また、東南アジア向けも、中国メーカーとの競合激化から低調な見込み。

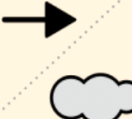
飲料製造	宿泊・外食を中心に需要は底堅いが、物価高が下押し要因に
● 現況 	ビジネスや観光で人の動きが活発になり、宿泊・外食などの利用機会が増えたため、飲料需要は堅調に推移した。今後もインバウンドを含めた人の移動が見込まれるが、物価高による消費者の節約志向の高まりから、飲料需要は伸び悩む見込み。
● 見通し 	• 果汁・野菜ジュースなどの清涼飲料は、国産原料を用いた安心・安全な飲料への需要が高いものの、原材料不足を背景に生産量の低下が続く見込み。 • 清酒・ワインなどのアルコール飲料は、宿泊・外食需要は底堅いとみられるが、物価高を背景に消費者の節約志向の高まりから、需要は伸び悩む見込み。また、包装資材など製造コストの上昇が続くとみられ、利益は減少する見込み。

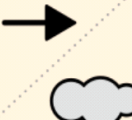
食料品製造	製造コストの上昇が続き、利益は減少する見通し
● 現況 	家庭用需要は、消費者の節約志向の高まりから伸び悩んだ一方、業務用需要は、ビジネスや観光で人の動きが活発になり、宿泊・外食を中心に底堅く、需要は総じて堅調だった。今後も、業務用を中心に堅調な需要が見込まれるものの、製造コスト上昇分の価格転嫁は、需要減を懸念して一部にとどまるとみられ、利益は減少する見通し。
● 見通し 	・味噌などの調味料は、原料米等の値上がりによるコスト上昇が利益を下押しする見込み。 ・油揚げ・ソースなどは、飲食店を中心に需要は堅調な見込み。 ・乾燥食品・加工肉などは、無添加や低カロリーなど健康志向に配慮した製品の需要が底堅い見込み。

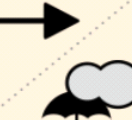
機械器具卸	建設・電設資材需要は堅調な一方、機械需要は低調
● 現況 	機械需要は、自動車関連やIT関連で設備投資への慎重姿勢が続き、総じて低調だった。一方、建設・電設資材の需要は、施設の新設工事を中心に堅調だった。今後も、機械需要は低水準となる一方、建設・電設資材の需要は堅調な見通し。
● 見通し 	・工作機械などの機械需要や制御機器などのFA機器の需要は、自動車関連やIT関連での投資抑制が続き、低水準となる見込み。 ・切削用工具類や金属板などの消耗品受注は、主力の自動車関連を中心に生産が低調とみられ、減少する見通し。 ・建設・電設資材の取扱量は、建築工事量が堅調に推移するとみられ、順調な見込み。

大型小売	販売価格の引き上げ等から売り上げは堅調な見通し
● 現況 	コメなど食料品の価格高騰を受けて、消費者の購入単価は上昇しており、売り上げは増加した。一方で、このところの光熱費や人件費の増加などから、収益環境は幾分悪化している。今後も消費者の底堅い内食需要が見込まれる中、食料品を中心に販売価格の引き上げが続くことから、売り上げは堅調な見通し。
● 見通し 	・百貨店は、高温等の天候要因から季節衣料を中心に衣料品は伸び悩むとみられる一方、食料品や化粧品、催事が堅調に推移する見込みから、全体としては底堅い見込み。 ・スーパーは、物価高の影響から消費者の買い上げ点数は減少しているものの、販売価格の上昇が継続する中で、食料品や日用品などを中心に売り上げは増加する見込み。

自動車販売	供給網の正常化が進み、販売は底堅い見込み
● 現況 	新車販売は、メーカーの生産・出荷体制の正常化が進み、販売台数は堅調に推移した。また、中古車販売や輸入車販売も底堅く推移した。今後も自動車販売は、総じて堅調に推移する見通し。
● 見通し 	・新車販売は、メーカーの生産・出荷体制が安定し、また各社が新型モデルを市場投入していることから、堅調な推移を見込む。 ・中古車販売は、新車販売の増加に伴って下取り車が増加する中、比較的新しい年式の車を中心に底堅く推移する見通し。 ・輸入車販売は、人気車種のモデルチェンジにより、底堅く推移する見込み。

公共工事	防災・減災工事や道路改良工事などにより工事量は底堅い水準を維持
● 現況 	防災・減災を目的とするインフラ施設の工事や、道路改良工事などを中心に、堅調な工事量となった。今後も三遠南信自動車道やリニア中央新幹線に関連する大型工事に加え、公共施設の改修工事などが見込まれ、工事量は底堅い水準を維持する見通し。
● 見通し 	● 国では、防災・減災を目的とするインフラ施設の工事や、三遠南信自動車道に関連する工事などが見込まれ、底堅い工事量となる見通し。 ● 県では、河川の砂防工事や道路改良工事に加え、公共施設の改修工事などにより、底堅い工事量が見込まれる。市町村では、国民スポーツ大会関連施設や学校等の改修工事を中心に、堅調な工事量となる見通し。

民間工事	企業の建設投資やリゾート開発などで底堅い工事量を見込む
● 現況 	民間企業の建設投資は、工場や倉庫の建設工事などを中心に、底堅い工事量となった。新築住宅は、持家を中心に資材価格の高止まりや省エネ基準変更などによる建築コスト高の影響がみられ、着工戸数は低調に推移した。今後も、新設住宅は持ち家を中心に低調な着工が続くとみられるが、企業の建設投資やリゾート開発などは底堅い工事量が見込まれる。
● 見通し 	● 民間企業の建設投資は、工場や倉庫の建設に加え、宿泊施設の新增設工事などにより、底堅い工事量となる見通し。 ● 住宅関連は、リゾート地や市街地の分譲マンション需要は堅調だが、建築コスト高による注文住宅の受注減少から、着工戸数は低調な見通し。

貨物	工業製品の貨物量は低調、食品・雑貨類の荷動きも伸び悩む
● 現況 	工業製品は、中国など海外向けを中心に需要が鈍化し、弱い荷動きが続いた。食品・雑貨類も物価高を背景に販売数量が振るわず貨物量も低調だった。各種コスト上昇を反映した価格転嫁が進んだが、荷主による物流体制見直しに伴う貨物便数削減の動きから大幅な収益改善には至らなかった。今後、工業製品は、米国による輸入関税引き上げの影響で一段の需要減少も懸念され、貨物量は総じて低調な推移を見込む。
● 見通し 	● 工業製品は、生産用機械や電子部品で海外向けを中心に弱い荷動きが見込まれるほか、自動車部品も需要は弱含むとみられ、関連部材や輸出品などの貨物量は低調な見通し。 ● 食品や雑貨類は、物価高の影響などにより荷動きは伸び悩むとみられる。

観光	夏季行楽シーズンを迎え順調な利用を見込む
● 現況 	5月の大型連休を中心に、国内旅行者による観光需要は順調で、インバウンドによる宿泊利用も好調だった。ただ、天候不良となった週末が多かったことから、旅客では観光利用が伸び悩んだ事業者もみられた。今後は、夏季の行楽シーズンを迎え、旅客・宿泊施設とも順調な利用を見込む。
● 見通し 	● 旅客は、運転手不足による需要取りこぼしの懸念はあるが、バス、タクシーとも観光目的を中心とする利用が期待され、利用者数は堅調な見通し。 ● 宿泊施設は、お盆休みを中心に順調な利用が見込まれる。また、各種コスト増加に対する価格転嫁により、収益状況の改善が進むとみられる。